



「人である」とはどういうことか、ロボットから問いかける。時間や歴史を背負う人間と永遠の相の中に生きるロボットがどう出会うか。人間と人間、ロボットと人間のコミュニケーションから探る切なさ漂う科学書。



Book 6

『ロボットの悲しみ』

コミュニケーションをめぐる人とロボットの生態学』

岡田美智男・松本光太郎 編著／新曜社／2014年

